

オール・
チャイコフスキー
プログラム!

オーケストラ・ キャラバン

八戸公演

Tchaikovsky

《管弦楽》仙台フィルハーモニー管弦楽団

ヴァイオリン
高木凜々子

Program

チャイコフスキー:

- 歌劇「エフゲニー・オネーギン」より“ポロネーズ”
- ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35
- 交響曲第5番 ホ短調 op.64

2023

11/29

水

18:30
開演
(17:45開場)

八戸市公会堂

大ホール (〒031-0075 青森県八戸市内丸1丁目1-1)

指揮
太田 弦

©ai ueda

チケット
発売日

8/7(月)
10:00~

入場料 [全席指定]

S席 ¥5,000 / S席(高校生以下) ¥3,000

A席 ¥4,000 / A席(高校生以下) ¥2,000

※未就学児入場不可

プレイガイド

■八戸市公会堂(Tel:0178-44-7171) ■八戸市南郷文化ホール

■デーリー東北チケットセンター ■ラピア ■八戸ポータルミュージアムはっち

■仙台フィル公式サイト (24h受付) (座席選択可) <https://www.sendaiphil.jp/>

チケットのお問合せ 八戸市公会堂 Tel:0178-44-7171

公演に関するお問合せ

仙台フィルサービス Tel:022-225-3934

主催:公益社団法人日本オーケストラ連盟、公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団

共催:八戸市公会堂[指定管理者:(株)アート&コミュニティ]、デーリー東北新聞社

後援:八戸市、八戸市教育委員会、コミュニティラジオ局BeFM

助成:



文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金

(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))

独立行政法人日本芸術文化振興会

※未就学児のご来場はお断りいたします。※演奏中の客席への入退場はできません。※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

仙台フィルが今年も八戸にやってくる！ 公会堂に響きわたる、迫力と魅力いっぱいの 〈オール・チャイコフスキー・プログラム！〉

仙台フィルハーモニー管弦楽団が、2022年のガラ・コンサートに引き続き、

2023年も八戸市公会堂にやってきます！

今年度から仙台フィル・指揮者に就任した若さとエネルギーに満ちた太田弦のタクトのもと、

息をのむ演奏とキュートな容姿で聴衆を魅了する高木凛々子のヴァイオリンを味わいながら、

チャイコフスキーのロマン溢れる不朽の傑作をどうぞ存分にお楽しみください。

Profile



©aiueda

指揮：太田 弦

Conductor : Gen Ohta

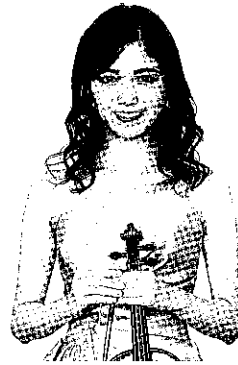
1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。

2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。

指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者。2023年4月より仙台フィル指揮者に就任。

2021年2月、オクタヴィア・レコードより交響曲 第8(9)番 ハ長調 D944「ザ・グレート」(新日本フィルハーモニー交響楽団公演ライブ収録)をリリース、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言明けに行われた公演の緊張感の中、太田のエネルギー溢れる「グレート」が聴衆の話題をさらった。



ヴァイオリン：高木凛々子

Violin : Ririko Takagi

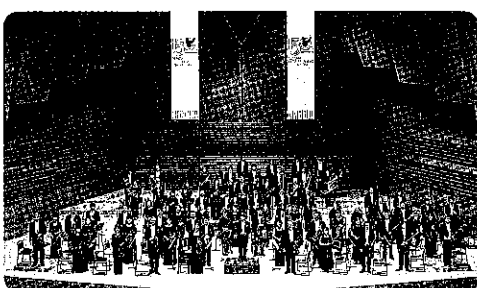
バルトーク国際コンクール第2位及び特別賞、シュロモ・ミンツ国際コンクール第3位、東京音楽コンクール第2位及び聴衆賞、日本音楽コンクール第3位及びE・ナカミチ賞受賞。

ソリストとして読売日本交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、東京交響楽団、日本フィル

ハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、大阪交響楽団、セゲド・ハンガリー国立交響楽団、ハンガリー・ソルノク市立交響楽団、など共演。各地でリサイタルを開く他YoutubeなどのSNS活動も積極的に行っている。

3歳からヴァイオリンを始め、小中学校時代には、全日本学生音楽コンクール東京大会、日本演奏家コンクール、全日本ジュニアコンクール、洗足学園ジュニアコンクール、かながわ音楽コンクール、横浜国際音楽コンクール、全て1位受賞。

2010年度ヤマハ音楽奨励学生。2018年度2021年度ローム音楽奨励学生。2023年よりパシフィックフィルハーモニア東京(旧東京ニューシティー管弦楽団)特別ソロコンサートマスターに就任。東京藝術大学卒業。



管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra

仙台フィルは、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ・飯守泰次郎常任指揮者らのもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2023年度に高関健が常任指揮者に就任、創立50周年を迎えさらに充実した活動を展開している。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届ける活動を行った。

現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの定期演奏会や、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれているほか、東北地域を中心に年100回に及ぶ演奏活動を繰り広げている。